

ジャーナリスト

日本ジャーナリスト会議 (JCJ)
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-8 松村ビル4F
電話 03-3291-6475 FAX 03-3291-6478
メールアドレス: jcyj@ky3web.ne.jp URL http://www.jcj.gr.jp
年間購読料3,000円(送料込み) 振替・00190-2-76501



2008. 12. 25

いま日本はどうなっているのか

渡辺治教授講演

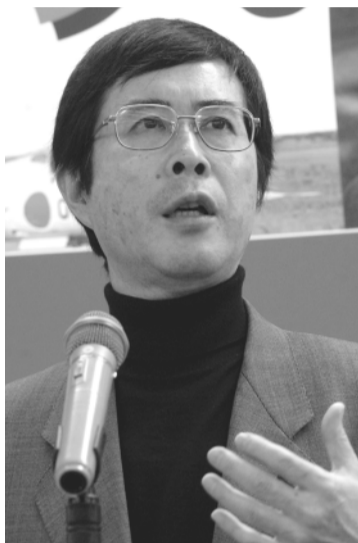
オルタナティブを視野に入れ

現場力鍛え、対案提起

12月集会

反貧困・反構造改革で 運動の合流・連帯を

なぜ自民党政権はガタガタになったのか？ 権交代を唱える民主党はどんな政党か？ どうすれば政治は良くなるのか？—12月5日、東京・市ヶ谷の自動車会館で行ったJCJ「12・8集会」



で、渡辺治一橋大学大学院教授は「いま日本はどうなっているのか」と題する講演で、縦横に弁舌を振るった。

運動がさらに力をつけること。そして、ジャーナリズムが現場力を鍛え、オルタナティブを常に視野に入れた掘り下げの報道をすることだ、と。

集会には、悪天候にもかかわらず1000人を超える参加者が熱心に講演を聴き、「田母神前空幕長論文」問題など質問も多数出された。

集会の冒頭、柴田鉄治JCJ代表委員が、67年前を振り返り、「いままたピラ配布やデモをしただけで逮捕される危ない

社会になっている。再び戦争のためにペンを執らない、の決意を再確認したい」と挨拶した。

渡辺教授は、小泉構造改革が従来の企業社会と自民党政治の基盤を切り崩し、貧困・格差・地方

どうしたんだ、小幡君 出版部会代表・小幡時彦君を惜しむ

梅田正己

12月8日朝、突然、全く突然、小幡君死去の通知を聞いた。背後からの不意打ちだった。胸中、

思わず叫んでいた。どうしたんだ、小幡君！

小幡時彦君。享年69歳。ジャーナリスト会議出版部会の代表のまま去った。一人で出かけた信

州の山小屋での脳出血による急死だった。

いつも野球帽にジャンパーというラフな格好だった。振り返ってみると、彼のネクタイ、背広姿は見たことがない。

08年「ジャーナリスト」10大ニュース決まる

「2008年十大ニュース」が別掲のように決まった。

選考会は12月4日に柴田鉄治、石崎一二代表委員ら8氏が参加して事務所で開催された。地方支部はじめあらかじめ寄せられた候補案をもとに2時間半にわたる議論を経て選考した。

(討議経過2面)

J C J 選定

- ① 世界金融危機で新自由主義の破綻が露呈した。煽ったメディアの責任は？
- ② 麻生政権、早くも末期状態に。米国民はオバマでチェンジに賭ける
- ③ 立川ピラ配布に最高裁有罪判決、麻生邸見学ツアーで逮捕。言論・表現の自由「戦前に逆行
- ④ 憲法9条、世界へ飛躍。「9条世界会議」の開催と航空自衛隊イラク派遣で名古屋高裁が違憲判決で改憲ムード吹っ飛ばす
- ⑤ 自衛隊トップの驚くべき歴史観・田母神論文の背景や改憲狙いを抉れぬメディア

- ⑥ 「横浜事件」「沖繩戦集団自決」で、画期的な司法判断続く
- ⑦ 貧困・格差・社会のヒズミが拡大、秋葉原事件など無差別殺人も続発
- ⑧ 出版不況が深刻化。総合月刊誌など続々休刊へ
- ⑨ 広告費の減少著しく、新聞・テレビ界も危機的状況に
- ⑩ 映画「靖国」の内容めぐり政治家の介入で、上映中止騒動広がる

番外・筑紫哲也さん逝く

運動の広がり。派遣法見直し、後期高齢者医療制度への国民的怒りを巻き起こしつつある反貧困・反構造改革の運動が共鳴しいあい、合流、連帯すること。これらの運動が能力を高め、既存の労働運動を変え、対案を提起する力持つことではないか。

90年代以降、2大政党を重視し、新自由主義・構造改革に迎合してきたマスコミも、現実の貧困、破綻に目を向けざるを得なくなった。ジャーナリズムは死んでいない！ 蟹工船ブーム・後期高齢者の実態に根ざして、「現場の力」を大事にしながら、さらにオルタナティブを展望する視野と能力を持つことが重要ではないか。

運営委員の選挙公示
2009年の個人会員選出分のJCJ運営委員選挙を以下の要領で行います。立候補する方は事務局にご連絡ください。

●定員 10名
●立候補締め切り 1月25日

J C J 選挙管理委員会



08年「JCJ」全国交流集会in北海道・夕張に参加した際の元気な小幡時彦さん(08年・10・4)

いつも野球帽にジャンパーというラフな格好だった。振り返ってみると、彼のネクタイ、背広姿は見たことがない。

その資格好どおり行動長記録だ。書記次長は細

仕事も速かった。講演の記録をとるスピードにいつも瞠目したものだ。

昨年、夫人の葬儀の後、小幡君から長文の挨拶が届いた。亡き夫人への思いがしつとりとこもったいい手紙だった。

数カ月を置いて小幡君は出版部会に復帰、06年4月には僕に代わって代表を引き受けてくれた。すると同年6月、今度は事務局長の久保君ががんで入院、小幡君は事務局長まで背負うことになる。彼は久保君がテ

10大ニュース選考会の議論から

A 影響度、衝撃度で金融危機を1位に挙げるのが多い。

C 危機を作った新自由主義を煽ったのはメディアだが、危機以後も臆面もなく「構造改革」主義者を登場させている。無反省ぶりには呆れる。

B この問題を当初から説いていたのは内橋克人さんだ。93年、日経で長期連載をしていたが、途中で横やりが入ったのか、未完に終わった。

A 2位が難しい。

E 福田首相が安倍に続いて政権を投げ出したのには驚いたが、麻生は輪をかけてひどい。解散もできない。しかし上位に挙げるようなことか。

B チェンジのオバマとの対比で、チェンジでできない日本の政治と相変わらずの政局報道というこ

とで、指摘しておかないとまずいのは。とまずいのは。

G 政治家レベルでは確かにふがないが、憲法9条が輝きを取り戻し、改憲論調が凋落した1年であったと思う。憲法9条世界会議の成功、そして改憲論者の「読売」調査でさえ、改憲世論は少数派となった。

D のトップにあったという踏まえた判断もあった。D 真実は権力でも曲げられないということだ。

H 警察・検察の強権さは、無差別殺人事件などによる社会の動揺を力で行にも込められていると思う。

C 世論側にも加害者を

A メディア界の動きはどうか。

C 独り勝ちのネットですえ、かげりが出てきた

Kは、改変問題で最高裁勝訴も奪い取った。

D 期待権の問題ではないが、内部的自由の問題が問われたのに論点がすり替えられた。

E 経営委員会の高圧ぶりは相変わらず。自身の改革なしに受信料値下げだけを決めても「安かろう悪かろう」にならない



▲最高裁は08年6月12日、ハウネット・ジャパンがE T V番組の改変についてNHKを提訴したいわゆる「NHK裁判」について、原告の主張を認めた東京高裁判決をくつがえし、NHK勝訴の判決を下した。

トヨタ、日産など自動車12社で、派遣社員切りが続き、1万4千人に達するという報道に続き12月に入ったら、正社員を含めたクビ切り旋風が吹いている。日本IBMが千人規模、ソニーが1万6千人、東芝、キヤノンも数百人規模。…ひどい年の瀬になった▼労働者を解雇するには、解雇を回避する努力を尽くして、どうしてもほかに方法がないときに、公平

に、労組と協議して初めて実施することが許される。判例でも確立した「整理解雇の4要件」だ▼労組や労働弁護士、共産、社民の両党などはこの法制化を求めているが、経営側は「解雇の自由」を主張して、堂々と押し出しているのが今回の「クビ切りラッシュ」ユ。一方で企業利益は、

ざっとみて、トヨタが1700億円、日本IBMは940億円、東芝は700億円、とても労働者を整理しなければやっていけない、などというもではない▼クビ切りも雇い止めも、ただ数字で報道される。しかし、重要なのは、そのひとり一人に生活があり家族があるということだ。派遣労働者でいえば、次の職場が以前に、すぐ住む場所がない。昔なら故郷に帰れば何とかあった。だがいまは、そうではない。こ

こはとにかく、大企業にこの人員削減をやめさせ、中小・零細の場合にも、国と自治体が緊急に対策を講ずるしかない▼12月4日の集会を朝日が一面トップで扱い、話題になった。だが、4野党揃った集会を扱わないこと自体、どうかしている。政治もおかしいが、メディアもひどく鈍感ではないか。

輝き取り戻した憲法9条

「言論・表現の自由」では戦前へ逆行

C イラクへの航空自衛隊の派遣を違憲とした名もあつたが、一方で立川反戦ビラ配布に最高裁が有罪判決を下した。憲法違反の判決だ。

E その反動か、田母神論文の異様さが目立った。こんな歴史認識しか持ち得ない人物が自衛隊

B 違憲判決の名古屋高裁のように画期的なものもあつたが、一方で立川反戦ビラ配布に最高裁が有罪判決を下した。憲法違反の判決だ。

C 裁判ではないが、麻生郎の見学ツアーが逮捕されたのにも驚きだ。

G 無差別殺人事件などに見られるように、社会の不安心理を悪用して強権的に秩序管理しようという動きの現れだ。

D 戦前回帰の一つの象徴であつて、私は随所に戦前回帰が見られるように感じる。

A 一方で横浜事件再審開始の横浜地裁決定、沖縄戦集団自決に日本軍関与を認めた大阪地裁・高裁判決など歴史の真実を

極刑にといった不寛容さ、苛立ちが目立つ。

D 光市母子殺害裁判報道に見られるようにマスコミが煽っている面は小さくない。

◇不況下の言論弾圧

B 映画「靖国」をめぐる政治家の介入発言による上映中止の動き、これも言論抑圧として押えておきたい。

D 多くの言論機関、市民団体などが反発し、上映実施にこぎつけた意味は大きい。

ほどで、マスコミはこぞって大不況だ。

D 『論座』『現代』などの硬派雑誌の相次ぐ休刊は、フリーランサー、ノンフィクション作家への打撃が大きい。

G 新聞・テレビは景気の大規模後退を受け、広告大減収、映像・活字離れも進み、夕刊廃止などリストラに懸命だ。

C ジャーナリズムまで一緒にリストラされかねない。

F 北京五輪、「篤姫」で視聴率1位を奪ったNHK

か心配だ。

A 触れていない項目はないか。

B NHKで言うところの記者たちのインサイダー取引があつた。

C 防衛秘密「漏洩」で一佐が懲戒解雇された。提供を受けた「読売」記者は調査さえ受けずにだ。

D それでも萎縮効果は十分ある。

G 筑紫さんが亡くなった。J C Jの集会、討論にも参加しジャーナリズムを熱く議論してきた仲間、先輩として残念だ。

にになるのではないか。

F 座して待つことはなく、解散はすると思う。

G 選挙後の展望が見えないね。

◇厳しさ増す09年

F オバマ政権発足で米国内も変わり、このままだと日本だけがますます取り残される危険がある。

D 金融危機は実体経済に深く及び、今年以上に深刻な影響が続くだろう。

F 戦前回帰の動きがさらに強まるのではない

か。ビラ配布やデモをしただけで逮捕する強権性が、秩序維持、社会安寧を理由に露骨になつていくのではないか。

C NHKに視聴率1位を奪われた民放に「このままでいいのか」という反省が生まれていて、これが放送の質の向上に向かうのではないかと期待もある。

A 新聞は広告収入が激減しているが、購読料を上げることはできるか。

G 難しい。価格改定前に夕刊を止める新聞社が続くのではないか。

D 政治、経済、社会、メディア、いずれも厳しさを増すとの予想を覆すのは難しいようだが、だからこそジャーナリズムの役割が大きくなるとも言える。J C Jがもっとスムに影響を与えられるように努力したい。

支部だより

J C J福岡支部は『ジャーナリスト福岡』42号を発刊した。

11月3日、警固公園で行われた「08憲法フェスタ in天神」の様子は11月15日に福岡の相良市民センターで開催された映画「荒木栄の歌が聞こえる」の鑑賞会の二つの記事が掲載されている。

憲法フェスタは今年で4回目。今年は音楽や朗読などが中心で、8歳のロックンローラーも登場し会場を盛り上げた。

J C J福岡支部からは

呼びかけ人として郡島恒昭、大島浩一、松本幸俊、白垣詔男の4氏が参加、延べ600人の人々とともに平和の大切さを再確認した。

福岡支部も協賛した映画会は500人が参加。作品は38歳で夭折した荒木栄の勤めていた三井三池炭坑のある大牟田市、北海道・夕張市や沖縄をリポート。彼の作曲した「がんばろう」地底の歌」

「仲間の歌」沖繩をかせ「せ」などが歌われているシーンや三井三池闘争の記録フィルムなどで構成されたドキュメンタリー。



▲第4次横浜事件再審開始の決定を受け、記者会見する請求人の斎藤信子さん、小野新一さんと佐藤博史弁護士。横浜弁護士会館で10月31日。

のトップにあったという踏まえた判断もあった。D 真実は権力でも曲げられないということだ。

H 警察・検察の強権さは、無差別殺人事件などによる社会の動揺を力で行にも込められていると思う。

C 世論側にも加害者を

A メディア界の動きはどうか。

C 独り勝ちのネットですえ、かげりが出てきた

Kは、改変問題で最高裁勝訴も奪い取った。

D 期待権の問題ではないが、内部的自由の問題が問われたのに論点がすり替えられた。

E 経営委員会の高圧ぶりは相変わらず。自身の改革なしに受信料値下げだけを決めても「安かろう悪かろう」にならない

に、労組と協議して初めて実施することが許される。判例でも確立した「整理解雇の4要件」だ▼労組や労働弁護士、共産、社民の両党などはこの法制化を求めているが、経営側は「解雇の自由」を主張して、堂々と押し出しているのが今回の「クビ切りラッシュ」ユ。一方で企業利益は、

ざっとみて、トヨタが1700億円、日本IBMは940億円、東芝は700億円、とても労働者を整理しなければやっていけない、などというもではない▼クビ切りも雇い止めも、ただ数字で報道される。しかし、重要なのは、そのひとり一人に生活があり家族があるということだ。派遣労働者でいえば、次の職場が以前に、すぐ住む場所がない。昔なら故郷に帰れば何とかあった。だがいまは、そうではない。こ

にになるのではないか。

F 座して待つことはなく、解散はすると思う。

G 選挙後の展望が見えないね。

◇厳しさ増す09年

F オバマ政権発足で米国内も変わり、このままだと日本だけがますます取り残される危険がある。

D 金融危機は実体経済に深く及び、今年以上に深刻な影響が続くだろう。

F 戦前回帰の動きがさらに強まるのではない

か。ビラ配布やデモをしただけで逮捕する強権性が、秩序維持、社会安寧を理由に露骨になつていくのではないか。

C NHKに視聴率1位を奪われた民放に「このままでいいのか」という反省が生まれていて、これが放送の質の向上に向かうのではないかと期待もある。

A 新聞は広告収入が激減しているが、購読料を上げることはできるか。

G 難しい。価格改定前に夕刊を止める新聞社が続くのではないか。

D 政治、経済、社会、メディア、いずれも厳しさを増すとの予想を覆すのは難しいようだが、だからこそジャーナリズムの役割が大きくなるとも言える。J C Jがもっとスムに影響を与えられるように努力したい。

支部だより

J C J福岡支部は『ジャーナリスト福岡』42号を発刊した。

11月3日、警固公園で行われた「08憲法フェスタ in天神」の様子は11月15日に福岡の相良市民センターで開催された映画「荒木栄の歌が聞こえる」の鑑賞会の二つの記事が掲載されている。

憲法フェスタは今年で4回目。今年は音楽や朗読などが中心で、8歳のロックンローラーも登場し会場を盛り上げた。

J C J福岡支部からは

呼びかけ人として郡島恒昭、大島浩一、松本幸俊、白垣詔男の4氏が参加、延べ600人の人々とともに平和の大切さを再確認した。

福岡支部も協賛した映画会は500人が参加。作品は38歳で夭折した荒木栄の勤めていた三井三池炭坑のある大牟田市、北海道・夕張市や沖縄をリポート。彼の作曲した「がんばろう」地底の歌」

「仲間の歌」沖繩をかせ「せ」などが歌われているシーンや三井三池闘争の記録フィルムなどで構成されたドキュメンタリー。



俺の業績ナッシング

●ミックJ C J●
江草 普二

関心の広さと絶妙なバランス感覚

筑紫哲也さんを悼む

J.C.J 代表委員 柴田鉄治

筑紫哲也さんが亡くなった人はいないのではな
って1カ月余が過ぎた。
近年、日本のジャーナリ
ストの死で筑紫さんほど
多くの人に悼まれ、その
喪失感の大きさを論じら



(撮影=川田マリ子)

れた人はいないのではな
い。 筑紫さんと私は、19
59年(昭和34年)に一
緒に朝日新聞に入社した
同期生だ。私たちが入社
した34年組は、入社試験
にいわれる「常識試験」
がなく、このため私たち
は「常識がない」とよく
いわれた。

試験はいらないのではな
いか」とよく話し合った
ものだ。 筑紫さんも私も10歳の
ときに終戦を迎えた「戦
中派」で、子ども心に「二
度と戦争はごめん」と
刻んだ戦争体験が新聞記
者の原点だった。筑紫さ
んは、それに沖縄体験が
加わる。

日本復帰前の沖縄は、
取材体制としては外国並
みで、筑紫さんは本社政
治部からその沖縄特派員
に選ばれたのだ。 筑紫さんにとって、こ
のときの沖縄との出会い
がその後のジャーナリス
ト活動に大きな影響をも
たらした。沖縄の音楽や
舞踊など文化に幅広い関
心を抱いたのもそのひと
つ。また、筑紫さんが沖
縄の人たちの置かれた状
況にいかにも強く心を寄
せ、そのような状況に追
いついた。彼の筆力はおし
やべりより数段上のもの
だ。

彼がテレビに持ち込ん
だ「多事争論」は新聞の
コラム記事を意識したも
のであり、彼の筆力はおし
やべりより数段上のもの
だ。 彼がテレビに持ち込ん
だ「多事争論」は新聞の
コラム記事を意識したも
のであり、彼の筆力はおし
やべりより数段上のもの
だ。

強い問題意識もった報道を

相次ぐ政権の崩壊と動
揺、金融恐慌を引き金と
する世界同時不況の衝
撃、悲惨な事件、格差・
貧困報道、展望の見えな
い政権交代など、「いま
日本はどうなっているの
か」を考えると、①なぜ
自民政権はがたがたに
なったか? ②麻生政権
はどうしようとしている
のか? ③民主党はどん
な政党か? ④政権交代
で日本はよくなるのか?
どうすれば政治は変わ
るのか? ⑤民主的ジャ
ーナリストの役割とい
う5点を検証しなければ
ならない。

リレー時評



J.C.J 代表委員 石崎一

世界金融危機は、次第
に深刻な世界同時不況に
入る様相を呈している。
昨年7月に表面化した米
国のサブプライムローン
破綻は有力ファンドや中
小金融機関、証券会社の
破綻を招き、今年9月には
有力証券会社リーマン
・ブラザーズが64兆円の
不良債権・債務を抱えて
倒産。さらにシティグル
ープ、ゴールドマンサッ
クスなど最大手の銀行、
証券会社が相次いで経営
危機に陥った。

このままでは金融危機だ
ったが、今秋以降、次第
に实体经济に深刻な影響
が出始めた。GM(ゼネ
ラル・モーターズ)など
3大自動車会社が資金繰
りの見通しが立たないと
して連邦政府に救済を求
めている。ビッグスリー
は、米国産業の象徴的な
存在だっただけに大問題
になっているが、産業界
は他業種を含め広範な不
況に覆われている。

「カジノノ資本主義」の破綻

世界恐慌の当時は金本位
制だったのに対して、今
日は管理通貨制であるこ
と、財政政策をとる余地
が大きいこと、国際協調
の枠組があることなど
で、恐慌にはならないだ
ろう。 それにしても、この金
融危機・大不況を招いた
原因は、ミルトン・フリ
ードマン(1976年度
ノーベル経済学賞)を教
祖とする新自由主義経済
学説、言い換えれば新自
由主義にある。規制緩和
政策の迷走状態を経済面
からみると、対米従属、

その片棒を担ぐ主張・発
言が多く、新聞の経済記
事の論調も同様だった。
しかし、新自由主義は
破綻したのである。麻生
政権の迷走状態を経済面
からみると、対米従属、
力、筆力のすこぶりに舌を
巻いたが、なかでも驚嘆
したのは、その筆力だ。
取材班キップの松山幸
雄さんは、それを見抜い
て、各章が終わるごとに
おいた「各章のまとめと
次章へのつなぎ」をすべ
て筑紫さんに書かせた。
それは、連載記事に深み
と彩りを与える実に見事
なものだった。

吉田悦子

大野晃の スポーツコラム

この一年の日本スポーツ界を振り返ると、競技者を統括する団体役員が勢いに不信を抱かせるケースが多かった。

興行利益を優先のツケ噴出

北京五輪では、競泳水着メーカーに振り回された水泳や、競技者保護を怠りマラソンの主力代表がケガで欠場して惨敗し

た選手は退団後も2年間ム登録から個人登録にかえて登録料の大幅アップを狙い、不満を生んだ。プロ競技では、大相撲で大塚汚染の対応が批判され理事長が交代した。バスケットは世界選手権開催で大赤字を出して

住民の反対が強い東京五輪招致に五輪代表を巻き込むことに懸命で、競技者の不安定な生活に目を向けようとはしない。日本体育協会は財政難などに苦しむ地方の実情把握の努力を怠った。

後期高齢者医療制度を、健康保険料を払えない人たちが保険証を取り上げられているのをどうするつもりなのか。利益を貯め込んでいる大企業に対して「社会的責任」を厳しく果たさせる気はあるのか。新卒者の内定取り消しについて「けしからん」と答弁するだけでいいのか。怒りは各地で渦巻いているが、年末を控えているというのに、具体的な対応策は出さずにいる。麻生政権の自壊は時間の問題となっ



テレビの本音

労働者のことや、内定取り消し問題については時間を割いて伝え始めた。テレビの報道も捨てたものではない。

タクシン政権を巡る対立と抗争

タイ空港占拠に遭遇して

タイのタクシン・ソムチャイ政権をめぐる、反対派の「市民民主化同盟」(PAD)と、支持派の「反独裁民主戦線」(UDD)の抗争が激化する中、PADが11月25日から8日間わたってバンコクのスワンナプーム国際空港とドンムアン空港を占拠した。

「心配ない」とだけ言って話を交わした。遺跡に向かうタクシンの運転手は「両方とも、消えてなくなればいい」とぼやいていた。今回の空港封鎖では、発生から2週間で約250万人が旅行をキャンセルしたとみられる

タクシンの独裁はまた、「民主主義は数の暴力だ」とする声に力を与え、クーデター後の選挙でタクシン派が再び勝利すると、PADはその選挙自体を否定して議会の任命制導入を訴えた。選

大規模な集会やデモについて報道してこなかったテレビも、さすがに社会問題化してきた非正規

「都内のホテルで開かれた自民党の石原伸晃幹事長代理の資金集めパーティーで放送事業者の立場的には経済情勢の影響だ



中継リポート

最初にこのニュースに触れたのは、北部の古都・スコートタイに向かうバスの中だった。心配した友人から携帯電話にメールが入ったのだ。

テレビのニュース番組では、1970年代の民主化革命の映像が繰り返し流された。これに今回の騒動を重ねようというのだらうか。

11月19日、那覇地裁に喜びの歓声が沸き起こった。沖縄島中部・中城湾の泡瀬干潟を埋め立ててマリンスポーツを造る東

「待った」をかけた、理不尽な開発に反対する各地の住民・市民運動に大きな

「都内のホテルで開かれた自民党の石原伸晃幹事長代理の資金集めパーティーで放送事業者の立場的には経済情勢の影響だ

世界遺産を擁する国内屈指の観光都市は、そんな喧噪の外にあるように見えた。笑顔で迎えてくれた宿のおやじにそう言う

「民主主義の擁護者」を自称するが、屋台街では「何日か空港を閉めても、明日の飯には困らない人たち」と冷ややかに

この判決は画期的であり、沖縄県内だけでなく全国的にも大きな波紋を投げかけた。

「都内のホテルで開かれた自民党の石原伸晃幹事長代理の資金集めパーティーで放送事業者の立場的には経済情勢の影響だ

「都内のホテルで開かれた自民党の石原伸晃幹事長代理の資金集めパーティーで放送事業者の立場的には経済情勢の影響だ

県は判決通り埋め立て中止を

「心配ない」とだけ言って話を交わした。遺跡に向かうタクシンの運転手は「両方とも、消えてなくなればいい」とぼやいていた。

テレビのニュース番組では、1970年代の民主化革命の映像が繰り返し流された。これに今回の騒動を重ねようというのだらうか。

11月19日、那覇地裁に喜びの歓声が沸き起こった。沖縄島中部・中城湾の泡瀬干潟を埋め立ててマリンスポーツを造る東

「待った」をかけた、理不尽な開発に反対する各地の住民・市民運動に大きな

「都内のホテルで開かれた自民党の石原伸晃幹事長代理の資金集めパーティーで放送事業者の立場的には経済情勢の影響だ

浦島悦子



11月末インド最大の商都ムンバイを2昼夜半にわたり恐怖に陥れた同時テロ事件。邦人を含む500人近い死傷者を出す大惨事を引き起こしたのは、ラシユカル・エ・トイバ(高潔な戦士たち)

言論・表現の自由はいま

横浜事件再審裁判で考える

戦前の国内弾圧を語るぬ右派

《暴走と追認の拡大再生産》
田母神「暴走」発言は、その基盤」と批判・克服しておかねばならぬ。太平洋戦争に至る現代史は、右翼ファシストの暴走、中央権力のたしなめポーズと追認、やがて中央権力自体の暴走という過程のくりかえしであった。田母神への共鳴勢力は決して小さくはないのである。

田母神らに共通するのは、戦争に至る「外圧」は声高に論ずるが、国内弾圧には口をつぐむことである。山本宣治はなぜ暗殺されたか。彼は対支非干渉同盟委員長であった(山東出兵反対)。小林多喜二はなぜ虐殺されたか。彼は満州侵略に反対、国際反戦デーを呼びかける作家であった。近史上最大の言論・思想弾圧事件、横浜事件は、反戦言論・思想根たやしをもくろむものであった。弾圧の武器は治安維持法、特高(特別高等警察)だ。請求人全員が請求動機は国家秘密法案の登場(85年)とのべた。同法案を治安維持法の再来、言論・思想の自由危機ととらえたのだ。同時に「歴史のけじめをつけさせること」(畑中繁雄・中央公論編集長)、「国の誤りを正すこと」(小野貞氏夫人)の言葉のように、戦争責任・国家責任の決着を求める運動として出発したのだ。

対、国際反戦デーを呼びかける作家であった。近史上最大の言論・思想弾圧事件は、反戦言論・思想根たやしをもくろむものであった。弾圧の武器は治安維持法、特高(特別高等警察)だ。請求人全員が請求動機は国家秘密法案の登場(85年)とのべた。同法案を治安維持法の再来、言論・思想の自由危機ととらえたのだ。同時に「歴史のけじめをつけさせること」(畑中繁雄・中央公論編集長)、「国の誤りを正すこと」(小野貞氏夫人)の言葉のように、戦争責任・国家責任の決着を求める運動として出発したのだ。



横浜事件集会＝第4次横浜事件再審開始決定を受けて

機は国家秘密法案の登場(85年)とのべた。同法案を治安維持法の再来、言論・思想の自由危機ととらえたのだ。同時に「歴史のけじめをつけさせること」(畑中繁雄・中央公論編集長)、「国の誤りを正すこと」(小野貞氏夫人)の言葉のように、戦争責任・国家責任の決着を求める運動として出発したのだ。

史の真実に向き合うことから逃げ続けた。ジャーナリズムは裁判所の責任回避に終って批判的ではあったが、評価を誤ったり、見識のなさを示す大手新聞もあった(本紙3・25号拙稿)。その中で司法の戦争責任、言論統制へのけじめを説いた『東京新聞』は出色の見識を示した。(08年10月28日、同31日夕刊)

表現の自由の危機が進行している。01年1月のNHK番組変更事件、すなわち政治家介入・自己検閲事件とそれをめぐる訴訟経過はその一つである。東京高裁はNHKの自己検閲は言論・表現の自由(権力からの自由)原理にもとり、右原理に基づく編集権の放棄と認定した。(07年1月)。ところが最高裁は、政治家介入事実は無視、自己検閲は正常な自己検閲行使と認定した。(08年6月)。月とスッポンに例えるならスッポンが月を打ち消す異常事態だ。驚くべきことに大手マスコミは、すべてこの異常判決を支持した。(本紙6月25日号)。自己の責任に思い至らず、危機を危機として認識し得ない、そのことがより大きな危機を招くのだ。

「ジャーナリズムの報道と見識」
事件捏造の国家責任・司法責任を初めて認定した第四次請求判決(08年10月、横浜地裁)、拷問事実を認めた第三次請求高裁判決(05年3月)を除き、裁判所は門前払い、免訴を重ね、歴史の真実に向き合うこと

南洋諸島―それは日本が第一次世界大戦後、それまでドイツ領だった南太平洋・ミクロネシアの島々を棚ボタ式に手に入れた植民地である。パラオ島もそのうちのひとつで、1922年には同島に南洋庁を設置して移民政策を押し進め、一時は5万を超える日本人が定住して現地人の数を上回るほどであったといわれる。

島には沖繩出身の者も多く、「がじゅまる」という名の呑み屋兼雑貨屋の女主人知花ゆり(檜よしえ)もその一人である。ユタであった彼女の祈りで、かすらの魂は中川青年から離れ去るが、替わりに現地の鉱業所の所長・永松(岩田安生)の娘常子(荒井ゆめ)が取り付いて離れない

テロの背景に独立以来の印パ確執

離独立、以来3回の戦争を戦った両国の宿命的な対立がある。さらにはインドのカースト制の根幹を支えるヒンズー至上主義と、カーストで差別さ

「ラシユカル」は、イスラム原理主義を学ぶ教団を母体にカシミール奪回のゲリラ戦士を養成する准軍事組織だ。パキスタンには「ラシユカル」本部の強制捜査を行い、指導者を逮捕した。しかしパキスタン国民の圧倒的多数はインドのイスラム同胞は差別されていると感じている。こうした土壌がある限り、パキスタンがイスラム過激派を根絶することは無理だろう。

血のハルコ(三十尾知佳)とも好演」という少女の父親を探すため、中川は彼女を日本へ連れて行ってやろうとする。だが、ときあたかも41年12月8日、日本軍は「西太平洋ハワイにおいて米英軍と戦争状態に入った」のである……。

な宿敵関係にある。ここ数年関係改善を目指す外交努力が続けられたが、ムンバイ・テロで関係は再び悪化した。同時テロを起こした

演劇回り舞台
アリストパネス『パラオ島の自由と憂鬱』
カンパニー
本土空襲の基地となった戦前の日本領だった島々



写真：石川妙子

安住邦男

水俣から、未来へ

熊本日日新聞編

「しつこい報道」で決る悲劇の本質

思わず息をのむ絶景の

「魚濁く海」で水俣の悲劇は起きた。偏見と差別、戸惑いと悲しみ…原告・家族・医師・行政…、因不明から、医者や科学者の協力を得て、被害者自身が声を上げること。07年JCIJ大賞を受賞した連載企画が基になった本だ。受賞時に「公式確

書評

本・BOOK・ほん

(価格は税別です)



このルポが、新聞連載をまとめたものではなく、結果的に「書き下ろし」になったのも、実は新聞が考えるべき問題ではないかと思う。

貧困の現場

東海林 智

記者の確かなメッセージが伝わる 労働と貧困の実態を衝くルポ

「格差」「貧困」問題はちよっとしたブームになり、多くの本が出版されているが、この本は、労働問題担当の新聞記者が、「反貧困ネットワーク」などの運動に密着しながら、労働と貧困の実

丸山重威



い、多くの悲しみを共有してこそ、本当のことが見えてくると気付かされた。地元に戻り、明るく、たくましく未来への発信に取り組みつつある。

認から50年の慰霊式を境に、全国メディアは潮が引くようにフェイドアウトしていった。せめて地元紙だけは一過性に終わらせてはならない、と51年目も連載を続けた。歴史は被害者が作ってきた。認定を求める闘い、熊日の「しつこい報道」

非営利放送とは何か

松浦さと子 小山帥人編著

コミュニティ放送局の現在と未来を多様な視点から描く



支えるサポートシステムやネットワークからの報告、さらに市民・住民・NPOが放送に参加できる制度を先行させている世界各地からのレポートを配していることからうかがえる。

いま多くの地域で伸びているのが、コミュニティ放送局である。地域の事情に対して関心を示さないメジャーテレビに代わって、地域の放送局が繁殖を始めたのである。本書はこのコミュニティ

津田正夫(立命館大学教授)

短歌

現代の窓

評 小石雅夫

田村 広志(かりん)

歌うとは持ち続けること満身に戦史の親父を抱えて生きる 「短歌」12月号「蟻の兵隊」

戦争の底値を引きすり出しくる『731』『蟻の兵隊』『阿片王』

生体の実験記憶墓場まで持つていけ！右井に忠実兵士ら 同

違憲なぞ「関係ねえって」言つかやい田母神航空幕僚長ヤイ 同

戦後六十三年—というこんな言い方さえ、これだけではその内実がそろそろ通じないのかも知れないと、ふとこの頃思ひあたることがある。先の戦争での戦場体験者は既に少なく、親兄弟を奪われた記憶を鮮明に持つ世代さえも減少している。

一首目は、いまもって戦死した父親の記憶を「満身」に「抱き」、そのことを歌をつくる動機でもあるのだと自己確認している。この思いは筆者の思いともそのままに重なっている。

二首目は、『731』青木富美子、『蟻の兵隊』池谷薫、『阿片王』佐野真一、それぞれ戦争の暗部と悲惨を衝いた話題の本であり、まさに戦争のもたらす「底値」を引きすり出している。

三首目は、ハルビン郊外平房地区の731部隊で、石井四郎指揮の下に十二年間も行われた残酷な生体実験のこと。細菌、毒ガス、電気、凍傷、食物、生体解剖などを様々行い、ここだけで三千人もの犠牲者があった。敗走に際し施設を爆破、マルタと称した実験材料の捕虜も殺害、隊員には絶対の秘密を厳命、罪の重大さにほとんどの隊員は沈黙した。石井は実験データをアメリカに引き渡すことと引き換えに戦犯を免れてしまった。

四首目は、名古屋高裁での自衛隊イラク派遣の違憲判決確定に対するもの。右の一首から三首までを踏まえて、何とも許しがたい思いが吐露されている。(新日本歌人協会事務局長)

『ルポ 内部告発』

村山治、奥山俊宏、横山蔵利著 (朝日新書 760円)

金沢大学付属病院の打出喜義医師は、同病院で抗がん剤の「人体実験」が行われたことを告発した。発端は友人の妻が抗がん剤の投与を受け、激しい副作用に見舞われたことだ。相談を受けた内出医師が、患者の治療記録を見たところ、無断で臨床試験の対象にされたことが分かった。

内部告発が続出している。医師だけではなく、食肉加工会社の元常務から、大阪府の職員、さらには愛知県警の警官まで

告発者の幅は広い。2006年には、公益通報者保護法が施行された。このような流れの中で、内部告発を奨励する企業も現れる。たとえばベネッセは、会社幹部の不正をも告発できるように取締役会から独立したホットラインを設置している。

本書には、綿密な取材に裏付けられた内部告発をめぐる話が克明に描かれている。筆者は本書の著者に尋ねてみたい。朝日新聞の紙面で、読売新聞の偽装部数についての内部告発を取り上げる勇気がありますかと。

黒数哲哉

『カムイ伝講義』

田中優子著 (小学館 1500円)

白土三平のコミック代表作「カムイ伝」三十八巻を素材に、江戸時代の複雑な社会構造を読み解こうという、まことに野心的な大学の授業だ。「身分制度」や「鎖国」といった固定観念で江戸時代をとらえられないことがよく分る。

著者は、『カムイ伝』に登場する被差別民や農民、下級武士らの暮らしと労働・生産の実態のリアルな描写を手がかりに、百姓たちの新田開墾と治水事業、綿花栽培や養蚕の作業、さらに身分制度の形骸化と身分内格差、一揆の実態などを、最

新の研究動向も取り入れつつ詳しく解説する。綿花栽培に鱒漁が関係しているとか、「土農工商」という身分の違いよりも同じ身分や組織内の格差の方が大きいとか、これが結構、面白い。人糞を下肥として売買する循環型社会であったなど、現代への問いかけも随所にこめられている。

著者は物づくりの現場にこだわっているが、それは額に汗する日々の労働のなかに「地」について人間の生き方の基本があることを、学生に知ってほしいと願っているからだろう。

菅原正伯



映画の鏡

都教委の官僚主義と闘う

『続・君が代不起立』 処分攻撃を受ける個人の内面

この『君が代不起立』(06年12月)の続編は、東京都の中学校教員・根津公子さんと養護学校教員・河原井雅子さんの闘いを記録したもので、二人は卒・入学式での「日の丸・君が代」に対して不

起立をつらぬき処分された。その後も処分は続き、根津さんは何度も都教委に呼び出され、調査を受ける。日の丸・君が代の「強制」に反対だという根津

前だろ。義務教育なんだから」と、停職中に校門の前で立つ根津さんに嘸み付く男性も描かれる。かつての愛国心教育は戦争への道を開いたた

だ。義務教育なんだから」と、停職中に校門の前で立つ根津さんに嘸み付く男性も描かれる。かつての愛国心教育は戦争への道を開いたた

だ。義務教育なんだから」と、停職中に校門の前で立つ根津さんに嘸み付く男性も描かれる。かつての愛国心教育は戦争への道を開いたた

だ。義務教育なんだから」と、停職中に校門の前で立つ根津さんに嘸み付く男性も描かれる。かつての愛国心教育は戦争への道を開いたた

だ。義務教育なんだから」と、停職中に校門の前で立つ根津さんに嘸み付く男性も描かれる。かつての愛国心教育は戦争への道を開いたた

だ。義務教育なんだから」と、停職中に校門の前で立つ根津さんに嘸み付く男性も描かれる。かつての愛国心教育は戦争への道を開いたた



井さんたちの前に立ちはだかるのは東京都教育委員会の「官僚主義」だ。都教委は根津さんに研修を課し、事情聴取し、様々な名目で処分する。

「闘い」といつても根津さん、河原井さんの行動は、不起立を貫き、処分を受け、その理由を当局に問いただすこと。しかし守られているのは最も重要なもの、個人の内面の自由だ。

結局、08年春の時点で、根津さんの解雇処分は出されなかった。予断は許されないが運動の広がりは都教委のパワーハウスメント同様の行動を掣肘しているようだ。

問い合わせ「デオプレス 03(3530)5088 http://vpress.la.cocan.jp/kim i2.html 保坂義久

00年9月以来初めて。放送の基本要素である動画・音声が停止され、文字情報のみ状態でも被害が同質と見られることには「朝日」12月4日付は「朝日」12月4日付は

新聞

『ニュース鑑定人』の力量を

2年余にわたりマスコミ評を執筆してきたが、最近の政治の劣化は目を覆いたくなるほどだ。主要メディアの世論調査は、相次いで内閣支持率急落を伝えている。今回は朝日222%、読売

が急速に進み、政界再編絡みの活動が活発化している。12月9日付読売社説も指摘するように、ほ

金融危機は世界同時不況へと推移し、日本経済に暗雲が立ちこめる。その象徴がトヨタ・シヨツクだ。トヨタは北米市場

への利益依存により急拡大したが、その落ち込みが足もとを揺るがす。自動車産業は裾野が広く、

「減産・トヨタ」で期間同時不況は、グローバル

「経済危機の深度と震度」で6人の経済学者が様々に議論し、「サブプライム危機の帰趨は依然として不透明」との結論を確認している。

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

月間マスコミ評

作家の太宰治は、小説『人間失格』で、思いつく固有名詞を「悲劇名詞」「喜劇名詞」と分類する不可思議な遊戯を書いてきた。「直筆で読む」人間失格(集英社新書ヴィジュアル版)で、その個

記者会見で、大不況は工場再編の「絶好のチャンスだ」と述べた(12月12日)。資本家は、大不況を喜劇名詞に分類するよ

「経済危機の深度と震度」で6人の経済学者が様々に議論し、「サブプライム危機の帰趨は依然として不透明」との結論を確認している。

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

出版

ワーキングプアと連帯せよ

銀行その他の金融機関の損失の規模は不明で試算でしかない。

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

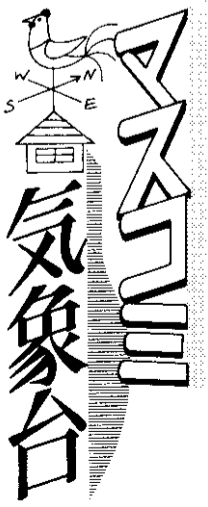
「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム



から乗り換える動きも出てくる。APのほかに、米フルーバーグ、英ロイターなど

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

「世界」1月号は特集「大不況—いかなる変革が求められているか?」を組んだ。シンポジウム

NHK経営委を視聴者の手に 限りなく不透明な選考の基準・過程

都内でシンポジウム

「政府、財界主導のNHK経営委員会を視聴者の手に取り戻そう」と、11月22日都内でシンポジウムが開かれた。前日の参議院で4名の政府推薦候補のうち3名が不同意となった事態を受け、80名



を超える市民が参加して活発な討論が行われた。「政府推薦候補が拒否されたことは我々の運動の成果だ。非常な高揚感をもってこの集会を開くことができる」。主催者を代表して東京大学教授の

醍醐聰氏はこのようにあいさつした。基調講演に立った元立命館大学教授松田浩氏は、次期経営計画に対し「受信料10%値下げ」を強引に盛り込んで議決した経営委員会を強く批判。背景には政府が目論む支払い義務制の意図が隠されている、と指摘した。

シンポジウムの司会はジャーナリストの野中章弘氏。NHK経営委員を二期務めた国立音楽大学名誉教授の小林緑氏「開かれたNHK経営委員会をめざす会(世話人代表・松田浩 桂敬一 野中章弘) 構成団体 NHK問題京都連絡会、NHK問題を考える会(兵庫) NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ、日本ジャーナリスト会議、放送を語る会



桂敬一氏



湯山哲守氏

は、自身への就任要請について、「総務省のデータベースでヒットして候補に挙げられたらいい」とエピソードを紹介。デジタル放送への移行について、その弊害を話題にしようとしたところ、「デジタル化は既に決定していることですので」と事務方から釘をさされ驚いたとのこと。「経営委員の選ばれる過程を透明にして草の根の主婦などを含めてはどうか」と提言した。

元NHKディレクターの戸崎賢二氏は、受信料値下げの圧力に対し制作現場では、「値下げするならば番組経費に回して欲しい」との声が上がるほど、予算が圧縮されている実態を紹介。経営委員には企業経営者ばかりでなくジャーナリストやアーティストが加えられるべきだと提案した。

紹介された。「全国の都道府県に視聴者団体を作ったNHKに働きかけよう」との発言には多くの賛同が寄せられた。集会は、会推薦の経営委員候補・桂敬一氏、湯山哲守氏への賛同署名をいっそう広げようと呼びかけて終了した。会が取り組んだ「NHK経営委員の公募・推薦制と古森重隆氏の不再任を求める申し入れ」署名は一万五千ほどに達した。(尾崎孝史 写真)

メディア総合研究所長の須藤春夫氏は、視聴者の側からの公募制要求や推薦候補を出すなどの運動が「開かれたNHK」にしてゆくとするために必要だと強調した。先行経験のあるBBCについては、

康弘氏、原寿雄氏、内橋克人氏ら各界の著名人名を連ねている。また、近畿など各地で、今回の運動を契機にNHK問題に取り組む組織作りの機運も出ている。

ある視聴者の立場から見ると、本末転倒だといわざるを得ない。視聴者・市民に開かれた経営委員会を実現するために、「めざす会」をはじめ、各地の視聴者団体や言論界など多様な人々が、どう力を合わせることが出来るか、真剣かつ緊急な議論が今求められている。(石井長世)

「経営委員会の抜本改革を」 各地で急速に運動広がる

政府・財界寄りの色彩が強いNHK経営委員会が抜本的な改革をめざす運動が、各地で広がりをみせている。

当初12月に予定されていた経営委員人事を機に、委員の公募・推薦制の採用と、委員長として不適格な古森氏の不再任を求めて、視聴者を中心に始まった署名は、この2カ月間で1万5000人を超える盛り上がりを見せていた。

こうした動きの影響もあって、総務省が11月、国会に提出した経営委員4人の人事案は、参院野党の反対で1人を除き不同意という結果に終わった。

この運動の盛り上がり背景には、10月に、各地の視聴者団体や放送を語る会、日本ジャーナリスト会議など6団体と有識者による「開かれたNHK経営委員会をめざす会」が結成されたこと。さらに「めざす会」が、

両氏の推薦には、これまでに600人を超える賛同者があり、この中には川口幹元会長らNHKのOBをはじめ、奥平

本来、NHKの権力からの自立を保障すべき立場にある経営委員会の人事を、与党・総務省・財界が密室で決める仕組みは、公共放送の主権者で

ある視聴者の立場から見ると、本末転倒だといわざるを得ない。視聴者・市民に開かれた経営委員会を実現するために、「めざす会」をはじめ、各地の視聴者団体や言論界など多様な人々が、どう力を合わせることが出来るか、真剣かつ緊急な議論が今求められている。(石井長世)

戦争後のベトナム発展をみる

共産党幹部・元兵士・学生と懇談

ベトナム反戦世代がその後ベトナムの発展や課題をこの目で見たいというのがツアーのコンセプト。毎月、広告支部の機関誌に「ベトナム通信」を寄稿のハノイ在住・新妻さん(三進交易)の奮闘で7泊8日のオールド・メイト・ツアーが実現しました(参加者9名)。ベトナム共産党北東アジア局長カイン氏とは官邸で懇談。「ベトナム航空や入国管理での公務員の横柄な態度など、社会主義を目指す国家としては不安を感じるとの率直な発言も参加者から2、3出る。あとでカイオン氏は同行の新妻さんに「このよ



「このよ うな懇談 広告支部 矢野英典 九条の会に携わる方、この著書は必読です(日本)の多くの図書館に在る。 大学の日本語学科の学生との交歓会は愉快でした。日本人と似て最初は恥ずかしがり屋で、敷居を越えるとおしゃべりに。この明るさは社会の反映でしょう。人々の生活状態は日本の昭和30年代といったところか。

マウスの社会探訪

ネットでもジャーナリズムは健在か?

@米国ではインターネットに押されて新聞経営の危機状況が全紙に及んでいる。地方紙(地域)の廃刊が相次いでおり、大手紙でもクリスチャン・サイエンス・モニターが来年4月から日刊を廃止し、インターネットによるニュース配信に切り替える。さらに最大手のひとつトリビューンの破綻が伝えられた(8日)。いづれほとんどの米紙は、日刊からネット配信に切り替わるだろうという観測もされている。@こうした状況でジャーナリズムはネットでこれまでのような役割を果たせるのだろうか。新聞の発行権が新聞人から利益追求を主眼とする資本家に移っており、多数のジャーナリストが解雇され続けている。ジャーナリズムが単なる情報発信に置き換えられてしまわないか。危惧される。